



ウンカ類発生状況報告書



(トビイロウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1～5	6～21	21～50	51 以上

(セジロウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
1 株あたり虫数	0	1～10	11～50	51～100	101 以上

(ヒメトビウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
1 株あたり虫数	0	1～2	3～5	6～10	11 以上

(植物防疫協会 イネの病害虫より)

調査日:令和 5 年 8 月 16 日











調査田	捕 殺 数 (株 あ た り 虫 数)		
	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
岸和田市積川町	0 頭	0 頭	0.027 頭 (75 株当たり 2 頭)
和泉市国分町	0 頭	0 頭	0.04 頭 (75 株当たり 3 頭)
泉大津市虫取町	0 頭	0 頭	0.1 頭 (50 株当たり 5 頭)

定点調査する圃場においてトビイロウンカ、セジロウンカは発見されませんでした。

大阪府内の他の調査地点においても現在のところトビイロウンカ、セジロウンカともに発見はされておられません。しかし、トビイロウンカにおいては急激に発生すること

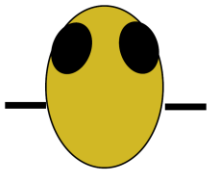
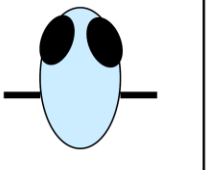
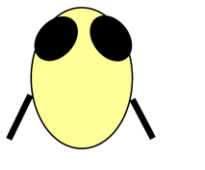
もありますので、引き続き圃場内をよく観察し、発生には十分ご注意ください。

1) ウンカ類成虫・幼虫と主な被害

	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
雌成虫 (♀)	 <p>短翅型 長翅型 約4.8 mm</p>	 <p>短翅型 長翅型 約4.5 mm</p>	 <p>短翅型 長翅型 約4.0 mm</p>
雄成虫 (♂)	 <p>約4.5 mm</p>	 <p>約4.0 mm 鼻先が尖り、背面が白い</p>	 <p>約3.5 mm 鼻先は丸く、背面が黒い</p>
幼虫	 <p>若齢 中齢以降</p> <p>体色が白っぽい 腹部に白いT字 紡錘形 脂ぎった褐色</p>	 <p>長い菱形 灰褐色～灰黒色、斑紋がある</p>	 <p>長楕円形 黄色～茶褐色、体の側面の色が濃い</p>
主な被害	 <p>坪枯れ被害</p>	<p>飼料用米やインディカ米 などで被害が大きい</p>	 <p>イネ縞葉枯病を媒介</p>

※害虫の体色は画像と異なる場合があります。

3) ウンカ類幼虫の水面での見分け方

	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
水面での脚の開き方 (払い落した時)			
	水平に足を広げる	水平に足を広げる	斜め後ろに足を広げる